

## 小児健診受診集団における 肝炎ウイルス感染状況に関する血清疫学的研究

研究代表者： 田中 純子<sup>1)</sup>

研究分担および協力者： 小山 富子<sup>2)</sup>、高橋 文枝<sup>3)</sup>

1) 広島大学 大学院医歯薬保健学研究科 疫学・疾病制御学

2) 公益財団法人岩手県 予防医学協会 事業推進部 産業健診課

3) 公益財団法人岩手県 予防医学協会 医療技術部 臨床検査課

### 研究要旨

2016 年 10 月から HBV 水平感染予防のために WHO 基準に沿ったユニバーサルワクチン（生後 1 年以内に HB ワクチンを 3 回接種）が開始されることとなった。1986 年から実施されている HBV 母子感染予防対策の効果の再評価とともに、universal vaccination 導入前の現在の小児の HBV 感染状況を把握することを目的として本研究を行った。

### A. 研究目的

2016 年 10 月から HBV 水平感染予防のために WHO 基準に沿ったユニバーサルワクチン（生後 1 年以内に HB ワクチンを 3 回接種）が開始されることとなった。

今後、わが国の HBV 感染状況が変化することが予想され、現在の小児における HBV 感染状況を確認しておく必要がある。

1986 年から実施されている HBV 母子感染予防対策の効果の再評価とともに、universal vaccination 導入前の小児の HBV 感染状況を把握することを目的として本研究を行った。

この研究は広島大学疫学倫理審査委員会の承認を得、さらに各共同研究施設において倫理審査を行った。（第疫-E-456-1 号）

### B. 研究方法

**【対象】** 2016 年 5 月から 2016 年 10 月の期間に岩手県予防医学協会が行った小児生活習慣病予防健診を受診し、受診時の血清が保存されている小学 4 年生、3,774 名を対象とした。

**【方法】** 保存血清を用いて HBs 抗原、HBs 抗体、HBc 抗体を測定した。測定項目及び測定試薬は、HBs 抗原は CLEIA 法(ルミパルスプレスト® HBsAg-HQ (富士レビオ)及び HISCL™ HBs 抗原(シスメックス))、と凝集法(マイセル II HBsAg(特殊免疫研究所))の 3 試薬、HBs 抗体は CLEIA 法(ルミパルスプレスト®HBsAb-N (富士レビオ)、及び HISCL™ HBs 抗体(シスメックス)、凝集法(マイセル II anti-HBs (特殊免疫研究所))の 3 試薬により測定した。

また、HBc 抗体は、CLEIA 法(ルミパルスプレスト®HBcAb-III (富士レビオ)及び HISCL™ HBc 抗体(シスメックス))の 2 試薬により測定した。

### E. 結論

現在、測定結果の評価を行っている。

### F. 健康危険情報

特記すべきことなし

**G. 研究発表**

なし

**H. 知的財産権の出願・登録状況**

なし